

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第 1 4 回相模原市中央区区民会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 地域政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 8 0 1 (直通)		
開催日時	平成 2 4 年 2 月 2 1 日 (火) 1 4 時 0 0 分 ~ 1 5 時 2 0 分		
開催場所	けやき会館 2 階 大研修室		
出席者	委 員	2 0 人 (別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	1 8 人 (中央区長、中央区役所地域政策課長、ほか 1 6 人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="margin: 0;">開 会</p> <p style="margin: 0;">会長あいさつ</p> <p style="margin: 0;">1 議 題</p> <p style="margin: 0;">(1) 中央区区ビジョンについて</p> <p style="margin: 0;">ア 中央区区ビジョンシンポジウムについて</p> <p style="margin: 0;">イ 中央区区ビジョン答申書 (案) について</p> <p style="margin: 0;">ウ (仮) 中央区区ビジョン全体像イラストについて</p> <p style="margin: 0;">エ 区民からの意見とそれに対する考え方について</p> <p style="margin: 0;">オ 中央区区ビジョンの推進にあたって</p> <p style="margin: 0;">カ 市長への答申について</p> <p style="margin: 0;">2 その他</p> <p style="margin: 0;">今後のスケジュールについて</p> <p style="margin: 0;">閉 会</p>		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

開 会

飯島会長の司会のもと、開会を宣言するとともに、委員の出欠状況の報告等がされた。

会長あいさつ

- 本日は、市長に対して答申する前の最後の会議ということで、すべてを決定していかなければいけないという状況にある。今日の審議でさらに良いものにブラッシュアップできればと思っている。よろしくお願いします。

1 議 題

(1) 中央区区ビジョンについて

ア 中央区区ビジョンシンポジウムについて

- はじめに、議題1、ア、中央区区ビジョンシンポジウムについてである。去る1月28日、相模原市立産業会館において、中央区区ビジョンシンポジウムを開催した。当日は区民会議の皆さんにもたくさんご参加いただき、また、登壇の委員さんにも、いろいろご協力いただき、感謝している。事務局より報告をお願いします。

(資料1について、事務局より説明を行った。)

- 当日、会場で回収したアンケートをその場で見せていただいたが、大変好評な反応をいただいていた。複数のメディアでつながっていくことがいろいろなことをよくわからせてくれるという1つの例だったようにも感じた。そういうことについても非常に反応の良いシンポジウムができていた。ご意見もいろいろあったが、かなりの部分、建設的なご意見を頂戴している。それについてはこれから議論していただく議題のエのところでは皆さんと情報を共有していきたいと思っている。

イ 中央区区ビジョン答申書(案)について

- 答申案として整理するに当たり、市役所の所管課、あるいは3区の間で調整し、少し修正した部分がある。こちらについて、事務局からご説明をお願いします。

(資料2について、事務局より説明を行った。)

- ただいま事務局より答申案について主に3区の間で調整した事柄について説明があった。これについてはいかがか。お認めいただけるか。

それでは、このように修正することをお認めいただいたということで、先に進めたいと思う。

ウ (仮) 中央区区ビジョン全体像イラストについて

- 答申書の案の中で、今回追加になった部分である。従前よりお伝えしてきた中央区区ビジョン全体像イラストが今回初めて付けられている。区ビジョンの取り組みの全体像を分かりやすく表現できるイラストを答申案の中に盛り込むという決定を受けて、事務局で作業を進めてきた。まだ制作途中ではあるが、原案としてほぼでき上がったので、皆さんにご覧いただきたいと思う。

この全体像のイラストについて、事務局から説明をお願いする。

(資料2について、事務局より説明を行った。)

- 内容についても皆さんにご議論いただきたいところではあるけれども、その前に簡単なことから決めていきたいと思う。

このイラスト自体については、今回、目次の次のページに仮置きしているが、この位置で良いのかどうかということと、仮称「区ビジョン全体像イラスト」と呼んでいるけれども、これに対して正式な名称をつけて呼ぶということはやめたいと考えている。というのは、区ビジョンイラストというよりは、ここでは「人とまち、宇宙(そら)をつなぐ中央区」という標語がやはり広く伝わっていくことのほうが大事だと思うので、このイラスト自身に対して何かの名称をつけて、これを別記する、目次や何かの中で章立てをしてそれを置くということにはしたくないと考えている。それでよろしいか。

もう1つの案としては、いろいろ文章があって、最後にイラストを載せるということもある。

- この絵を見ると、現役を引退した我々世代の存在が少ない。JAXAと下のほうで手をつないでいる人々の中に四角い眼鏡をかけたおじさんが2人いるが、これは宇宙人のような感じがするので、私みたいな古い人間が見ると、どうなのかなというのが私の感想である。

- そういう率直なご意見も今回頂きたいと思っているけれども、入れる場所と名称については、単純な話なのでご了解いただければと思うけれども、よろしいか。

それでは、場所については目次の次ということで、特に名称を与えずに、これこそ区ビジョンであるということで主張していきたいと考える。

- 先ほどおっしゃったとおり、もう少し加筆したほうが良いのかなと思う。イラストは何で描かれているのか。コンピューターか。
- 例えばこれをホームページ上にアップして、そこをクリックすると、まちづくりの目標の基本方針が見えるとか、そういう形もあるのかなと思った。

あと、イラストにはタイトルが付かないので、今のこの位置が一番妥当なのかなと思う。

- このイラストには、中央区のいろいろなものがイメージとして網羅されてい

と思うが、例えば、健康、スポーツだったらこの自転車をクリックするとか、ただのイラストとして見せるのではなくて、ここの部分のまちづくりの目標を見たいと思ったら、ここをクリックする、クリックすると該当ページに飛ぶというようになるとおもしろいと思う。

このイラストは、要素がいっぱいあり過ぎて、どこに何があるのかということが分かりにくい、これはイラスト全体に地域ごと、特徴的な要素を散らばせているからだと思う。下のほうが田名で、これがあるところが横山でというように散らばせているとは思いますが、一般の人が見たときに、そうしたことが分かるのかと思う。

- ぜひホームページを公開するときには、リンクをつなげるように設計していただければと思う。
- リンクする上で、マウスのポインターを普通に持ってきても、多分、分からないと思うので、例えばポインターがこの絵の上に来たときには絵が変わるようになると、そこをクリックすれば良いと分かるというように、技術的にどうなのか分からないけれども、そのほうが視覚的に良いのではないかと思う。
- カーソルが行くと、そこにタイトルが出るとか、そういうことは割合と簡単にできるので、その程度は是非盛り込んでいただければと思う。
- 小さいことだが、中央区の催し物として花火のことが何も入っていないのはどうなのか。
- 入れても良いと思う。
- 先ほどのホームページに関してはすごく良いことだと思う。このイラストを周知するのか、「人とまち、宇宙（そら）をつなぐ中央区」というのをこれで、要はイメージさせるのかというので少し違うと思う。イラストであればこれで良いと思うけれども、逆に、これを見て中央区のビジョンの中身を伝えるのであれば、もう少し区のめざす将来像を目立たせないと、イラストのほうが強過ぎるような気がする、そこはうまく出したほうがデザインとしては良いかと思う。
- 自分もそれを最初に感じていて、こういうイラストは、真ん中が視覚的に一番訴えてくる。これだとサッカー場とお祭りがPRされ過ぎ、区のめざす将来像の印象がちょっと薄くなっている、そのエリアをもう少し広く取る、あるいは背景を白にして、ロゴデザインを目立たせるとか、そういう工夫をお願いできればと思っている。
- 右下のソーラーパネルのある家は、環境を意味しているのか。
- そうである。
- ここの部分はよく分からない。環境ということであれば、もう少し工夫があっても良いという感じがしないではない。ぱっと見て、環境というイメージが湧

いてくるかどうか疑問である。

- 環境のことを考えると、もう少し真ん中のほうへ持っていったほうが、区全体が環境を意識してということにつながる。こういう自然のところへ置く、それはそれで意味はあるのであろうが、少し違うみたいな感じがする。自然の環境を生かす場所ということイメージしながら、まち全体でソーラーなどの省エネを考えるなど、もう少し工夫して入れたほうが良い。
- まちづくりの中の話なので、産業や何かと自然の間をつなぐような位置にそういうものを持ってきたほうが良いであろう。
- 市役所が真ん中へ来て、一目でこれは中央区の区ビジョンのイラストだというように分かるようなものが良いのではないか。
- 私も全く同意見で、市役所をもう少し下に下げたほうが良いと思う。
- 区のめざす将来像で「つなぐ」というのを強調していたのに、「つなぐ」が小さくなっているのは逆かなと思うので、そこを真ん中にして、いろいろなものがつながっていくとか、そういうイメージが良いのかと思う。
- 「つなぐ」も手をつなげるようなイメージでつくってほしい。
- 「つなぐ」を大きくするというのはあるが、「つなぐ」を強調するというような形にもうちょっと修正をお願いしたいと思う。
- 今のイラストは、ただ混在しており、つながっているイメージが乏しい感じがする。
- つながるイメージをもう少し出したい。
- 見た感じ、つながりを持たせてほしい。
- イラストレーターの方は大変だと思うが、皆さんの思いを反映していただくことが一番大事なので、そうしていただきたいと思う。
- 全体的に個々の要素をもう少し小さくして、空間を広くしたほうが分かりやすい。それぞれが全体的に大き過ぎるのではないかと思う。
- いろいろな要素をつないでいく。それぞれの要素をクリックすると説明が出てくる。
- 同じジャンルをなるべくつなげてほしい。地図にするなら地図らしい表現にしてほしい。
- ほかにご意見があるようであれば、事務局へご連絡いただき、完成形へ持ち込みたいと思う。イラストレーターの方には頭と筆を使っていただいて、修正をお願いします。

エ 区民からの意見とそれに対する考え方について

- それでは、エの区民の意見とそれに対する考え方について進めていきたいと思う。資料3をご覧ください。シンポジウムの大変短い時間の中で、大変

多くのご意見を頂いている。もちろんシンポジウム自体が面白かったとか、良かったというご意見も頂いているけれども、それだけではなくて、区ビジョンそのものについて、いろいろなご意見を頂いている。その他に、まちづくり会議、あるいは各種団体の皆さんから頂いた意見、それからホームページを通して区民の皆さんから頂いた意見もある。これらを集約して事務局案として整理したものがこの資料3である。

今回はこれらのご意見を答申書の中に、まずは反映するかどうかということ、それから、反映するとすれば、どのように反映するかということについてご議論をお願いしたい。

資料3についてまちづくりの目標ぐらいの単位で事務局からご説明をお願いします。

(資料3について、事務局より説明を行った。)

- 今、将来像とまちづくり目標の1について説明していただいたが、頂いた意見に、「宇宙」を「そら」とルビを振る読み方は、教育上問題ないのかというご意見があって、これは教育委員会に確かめるといような話で進めていたが、いかがであったか。
- 教育委員会に確認したところ、特に明確な取り決めというものはなく、文字のサイズに応じて、ルビを振ることが難しい場合には括弧書きなどで対応するというので、特に「宇宙」に「そら」というルビを振ることは間違いではないと意見をいただいている。
- それでは、将来像とまちづくり目標1のことについてはこのように進めさせていただく。
では、まちづくり目標の2について説明をお願いします。
(資料3について、事務局より説明を行った。)
- まちづくり目標の2については、一応、原案の範囲内ということのようである。
それでは、まちづくり目標3についての説明をお願いします。
(資料3について、事務局より説明を行った。)
- 「宇宙(そら)」を1つの言葉に取り上げたことは決して間違いではなかったと感じるところである。それから、もう1つは目標3、環境共生の分野で、田名地区の産業廃棄物の問題が少しあって、それについては基本方針の重点的な取り組みにおいて、文言に「産業廃棄物処理業者及び排出事業者へ適正処理の指導」というものを加えたいということであるけれども、これについてはいかがか。答申案では35ページ目の「環境を守るひとづくり」のところに関連するところかと思うが、先ほどの部分の業者に対する指導というところを入れるということである。よろしいか。

それでは、ここについてはお認めいただいたということで、重点的な取り組

み2の中に事業者への指導の部分を入れるということで修正したいと思う。

それでは、まちづくりの目標4について説明をお願いします。

(資料3について、事務局より説明を行った。)

- 今、リニア中央新幹線の件については入っているとおっしゃったが、確か除いたのではないか。
- リニア中央新幹線の新駅設置予定は橋本駅周辺というようなことになっているので、中央区でこれを取り上げる必要はないのではないか。
- そのように折衝しているようである。
- ここは中央区で緑区ではないので。
- 市都市計画課の計画では、一応、橋本駅と相模原駅を一体的な地域として扱うというような形では出ているが、このことについては、事務局から説明していただいたほうが良いかなと思う。

- リニア中央新幹線の関係であるけれども、今、お話があったように、今月、神奈川県と相模原市で合意をしたことが新聞報道されたと思う。県と市で協議した結果、リニア中央新幹線の神奈川県駅を橋本駅周辺に誘致することを合意したということである。なぜかという、橋本駅周辺には既設の鉄道が3線乗り入れされていて、さらには今後供用が予定されているさがみ縦貫道からのアクセス性に優れている、それともう1つ、橋本駅周辺におけるポテンシャルや将来のまちづくりの発展性が非常に高いこと、こういう理由が評価されたところである。

それまでは環境影響評価調査の中で、5キロの幅で相模原駅のほうも入った中でさまざまな検討がされていたわけであるけれども、県と市で橋本駅周辺ということで合意されたわけであり、今回はあくまでも橋本駅周辺における将来のまちづくりの発展性が非常に高いという表現に改められている。

橋本駅周辺という方向が定まった中で、中央区の区ビジョンにリニア中央新幹線によるまちづくりを取り入れることは、いかなものかなということと、もう1点は、私たちの区ビジョンは7年後の2019年、平成31年を目指した区ビジョンということになっているが、リニア中央新幹線の名古屋までの部分開業は15年後の2027年、さらには大阪までの開業は2045年ということで、時期的にも私たちの区ビジョンでめざす将来像を描いている時点とは少し相容れないというか、時期的に違いがあり過ぎるのではないかと考えているところである。

- ありがとう。次回の区ビジョン策定、7年後の区ビジョン策定には入れなくてはいけないことかとは思いますが、今回の中には入れるのは時期尚早というか、それに向けて何かを7年前からやっておく、あるいは15年前からやっておく必要はないだろうという考えである。

それでは、まちづくりの目標5とその他について説明をお願いします。

(資料3について、事務局より説明を行った。)

- 目標5、あるいはその他の意見のところで何かしらあるであろうか。
それでは、一応、皆さんに快くお認めいただいているので、先ほどまちづくりの目標3のところ、基本方針1の重点的な取り組み2に加筆するという変更だけを行うことを確定したいと思う。

オ 中央区区ビジョンの推進にあたって

- それでは、進行管理、この区ビジョンをどのように実施していくのかということについて、緑区、南区では「区ビジョンの推進にあたって」というページを区ビジョンにつくっているようである。

そこで、我々も少しそのことについて考えをまとめなければいけないということになったわけである。資料4をごらんいただきたい。ここでは文章しか書いていないけれども、実はかなり詳細に事務局と正副会長で議論をさせていただいた。この部分も、実は3区ともある程度、調整した形で示さなければいけない。どの区も基本的にはプラン・ドゥー・シー・チェック・アンド・アクションということで、PDCAサイクルをどういうふうに回すかということについて書かれている。我々もそのところは大事なことだと思うけれども、その他にも反省点があったので、そこを含めて前へ進めていきたいと思うが、この案について説明を事務局からお願いしたいと思う。

(資料4について、事務局より説明を行った。)

- 正副会長と事務局でいろいろ議論になった部分というのは、「新・相模原市新総合計画」とこの区ビジョンはどういう関係にあるのか、これは何回も皆さんからもご質問いただいていたところなのだが、要するに、「新・相模原市総合計画」は市として考えた流れであって、それが中央区にとって本当に良いのか、あるいは中央区というアイデンティティーをつくっていく上で、優先順位が変わることもあるだろうと。

あるいは中央区の区民の皆さん、これは、本当の住民という意味だけでなく、企業区民であるとか、行政をやっている人たちも区民であるけれども、そうした人たちにとっても、良いものになっていくためのことを考えていかなければいけない。

そういう意味で、この区ビジョン素案を取り組みの所管課に照会すると、「新・相模原市総合計画」の内容に沿ってほしいという話が多分に出てきたと思う。その中では受け入れられる部分もあったし、少し優先順位が違うのではないかとということで受け入れなかった部分もあったかと思っている。やはり中央区としてのアイデンティティーをどのようにつくるのか、あるいは中央区そのものが発展していくためには、緑区、南区とは違う方策をとらざるを得ないところ、あるいは、同じ方策をとったほうが伸びるというものもあると思う。そうした

中央区の将来像に向けて、行政の皆さんとよく話し合っていく場、あるいは情報を共有する場が大事であって、「新・相模原市総合計画」にあるから、それをすなわちやれば良いということとは少し違うということをここでPRしておくことが大事かなと思う。

もう1つは、今回、我々は広報紙で区民会議を紹介し、あるいはホームページに会議録を載せるというような形でこの審議の内容を出しているが、外の方から見たときに、どうしても密室会議のように感じたとおっしゃる方もいたわけである。そういう意味では、この区民会議の運営の仕方として、もっともっと情報を出していくこと、あるいは広くいろいろな意見を取り込んでくること、無作為に人を選んで意見を言うていただくというのはどうかというご意見もあったかと思う。そういうようなことも検討しながらやっていくことが、区ビジョンを形にしていくためには非常に重要なことだと思っている。

そういう意味では、ここに出ている最後の部分、「その評価検証結果を公表し、区民からの意見の聴取に努め、中央区区ビジョン推進にあたってのさらなる検討を進めていきます」という一文については、他区と比べて、我々の区については、ここは非常に大きな意味を持っている一文だと感じていて、次の区民会議、どういうメンバーでどのようにやるかということは未定であるけれども、区ビジョンの推進に当たっては、ここを十分に注意しながら進めてほしいということとを次期の区民会議への引き継ぎ事項としておきたいと私は考えている。

- 概要版の1ページに「新・相模原市総合計画」と区ビジョンとの位置づけが書いてある。この中で「新・相模原市総合計画」のいわゆる実施計画というのは、23年度から25年度の計画の内容になっているわけである。それで、今度のこのビジョンは24年から31年度ということなので、24年から31年のうち、24年度と25年度の分というのは、実施計画には反映されないであろう。もうできているわけだから。
- そのとおりである。
- そうすると、26年度からの実施計画に盛り込むということは、24年度、25年度は何をしているのか。
- まず、次の実施計画は26年ということなのだが、その策定には前年から入るし、そのための準備などがあり、ここで区ビジョンを策定していただいて、これの精神であるとか、いろいろなものについてはそういったところから考え方として反映していくというようなことがある。

区ビジョンには、区民の皆さんが取り組むものがたくさんあると思うが、そういったものについては、この実施計画への反映にかかわらず、取り組みの評価はしていくべきと考えており、そういった中でこのような文章を書かせていただいている。

- 大きな施策で、市が掲げていかななくてはいけないものは、今の説明でわかったのだけれども、答申案には、区民が取り組む内容が多く書かれている。当然、ここに掲げてあるものは、それぞれのまちづくり会議で取り組む内容だってあるわけである。そうすると、何らかの方向づけとして、ここに掲げてある区民が取り組むべき内容のものは、それぞれの地区のまちづくり会議の中で、自分たちの地域の中で優先的に取り上げなくてはいけないようなものは何かを整理するとか、それから、そういうものの取り組み進捗状況を区民会議へ持ってきて、他の地域ではどういうふうになっているかとか、何らかの取り組むべき体制づくりということが必要な気がするのだけれども、そういうことはどうなのか。
- そのために、実は新年度に入ってから区民会議は開催をお願いしたいと思っている。そうした場でもって、実際の体制を、あるいはその評価検証の仕方を区民会議がどこまでどうかかわっていけるのか、あるいはいくべきなのかというようなご議論も是非していただければありがたいと思っている。この評価検証については、最後にもお話ししようかと思うけれども、基本的には3区で同時に区ビジョンをスタートするので、それぞれの区民会議がばらばらに行うというのも、市としていかなものかという部分もあることから、基本的なところは、これは市として評価検証に区民会議がどのようにかかわっていくかという部分についてはある程度の考え方を示していかなければと考えている。それを受けて、中央区区民会議がどのような方向でかかわりを持っていくのか、地域の課題については地域でお話し合いいただくのが一番であるから、そうしたことを踏まえて、第2期の区民会議に向けて、是非新年度、お話し合いしていただけると大変ありがたいと思う。よろしく願います。
- 評価検証は、必ずしも「新・相模原市総合計画」の評価検証だけではなくて、地域づくりの評価検証だとも思うので、それまでに実施しているもの等もあるし、実施計画そのものも、その進捗によって中央区が良くなるのであれば、それも評価の対象にしていきたいと思うので、そういうふうに、ある意味、この6章のところ、今ちょっとお話をしてお話しいただくところであるけれども、そのところを実質的なものにどのようにしていくのかということが次期の区民会議の一番大きな仕事であると感じている次第である。

6章の部分については、この文面に入れさせていただくことで構わないか。

多少、先ほどお話ししたように3区同時に進めていく部分もあるので、文言等を修正、あるいは図を入れるかについては修正等があるかもしれない。それについては、まずは会長・副会長預かりとさせていただき、その結果については皆さんにメールか、文書でお送りさせていただいて、そこでご承認を得るというような手続をとっていききたいと思う。まずは、この文面に入れさせていただいて、3区調整の上、決定という形にさせていただくことによろし

いか。

それではそのようにさせていただきたいと思う。

カ 市長への答申について

- それでは最後、カであるけれども、市長への答申について事務局からご説明をお願いします。

(市長への答申について、事務局より説明を行った。)

- 3区揃えてということなので、よろしくをお願いします。

2 その他

今後のスケジュールについて

- その他として、今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。(資料5について、事務局より説明を行った。)
- スケジュールのことについてであるが、何かご意見、あるいはご質問等はあるか。

年度末だからといってなかなか終わりにならないようで、その後、市のビジョンとして策定する間、パブリックコメントを行い、庁議を経て決定していく形になる。その間も変更点等があったら、またこの区民会議において議論いただく、承認いただくという手順をとっていかなければならない。そういう意味で7月29日まで皆さんお仕事があるので、よろしくをお願いします。

それでは、今年度の最後の区民会議ということで、飯田区長から皆さんへメッセージがあるとお聞きしている。よろしくをお願いします。

- 長期間、14回にわたるご審議をいただき、大変ありがとうございます。おかげさまで諮問をさせていただいた区ビジョン答申案が、本日、皆様方のさまざまなご議論、ご意見をいただいた中でまとめていただくことができ、本当に感謝を申し上げたいと思う。

私ども中央区役所は、設置して今年3年目を迎えるが、諮問させていただいた22年7月30日、思えばまだ1年生、区役所できたて、区長も初めてという状況の中で、区民会議の皆さんも第1期生としてお集まりいただいて、ご議論がスタートしていったと思う。どんなふうに進めていって良いのか、区民会議ってどういうふうにやったら良いのかという、そういう中で、会長さんには様々な形で教えていただきながら、引っ張っていただき、本当にありがとうございます。

思い起こせば、皆で区内視察に出かけたり、あるいはお一人お一人プレゼンテーションをしていただいたり、さらにはグループ討議でまとめの表をつくっていただいたり、今年に入ってからシンポジウムということで、この区ビジョンの答申に向けて一丸となってお取り組みいただいたこと、本当に感謝を申し上げたいと思う。

今お話があったように、これを受けて3月28日、市長へご答申を頂くわけであるけれども、その頂いた答申を最大限尊重して、相模原市として中央区区ビジョンを策定、決定していきたいと考えているところである。

その決定に当たっては、幾つか踏まなくてはいけない手順があり、パブリックコメントはもちろんであるけれども、議会のこともあるので、市議会に説明、報告をさせていただいて、ご意見を伺うという場も出てくる。当然、市として、例えばその位置づけとか、あるいは評価の仕方とかというような基本的なことについては、3区ばらばらというわけにはいかないから、そうした基本的な考え方については、3区恐らく統一的なものにしていかなくてはいけないと思っているし、その中にあっても、それぞれ各区の特色、個性を生かした区ビジョンにしていかなければいけないと思っている。

本当にここまでたどり着けたことに対して、皆様方に御礼を心から申し上げさせていただき、この答申案のまとめに当たっての私からのお礼のごあいさつとさせていただきます。本当にありがとう。

閉 会

- 今、飯田区長に大変良いごあいさつを頂戴して、私も本当に飯田区長と同じ気持ちである。ここまでまとめ上げられたことは、決して私のリーダーシップではなく、皆さんのご協力の賜物で、いろいろなご意見も頂戴したし、うまく皆さんにまとめていただいた。ここまでできたことは大変ありがたいことだと思っている。

あと半年ぐらい、4月からまたこれを市のビジョンとしてきっちり確定していくための作業があるが、皆さんにもお手伝いいただき、区ビジョンを実現するような仕組みをきっちりこの相模原市及び中央区に根付かせていきたいと思っている。まだ少し続くが、何とぞよろしく願います。

以 上

第14回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	飯島 泰裕	青山学院大学社会情報学部教授	会長	出席
2	石井 トシ子	NPO 法人男女共同参画さがみはら副代表理事		出席
3	井上 誠士	(社) 相模原青年会議所直前理事長		出席
4	井上 政市	相模原交通安全協会会長		出席
5	猪熊 幸江	相模原商工会議所女性会会長		欠席
6	岩田 洋平	公募委員		出席
7	川内 春生	公募委員		出席
8	河本 博	大野北地区まちづくり会議会長		出席
9	神崎 利秋	(社福) 相模原市社会福祉協議会評議員		出席
10	久野 新一	公募委員		出席
11	小林 茂裕	横山地区まちづくり会議会長		欠席
12	近藤 郁恵	相模原市立小中学校PTA連絡協議会前運営委員		出席
13	齋藤 奈美	NPO 法人さがみはら環境活動ネットワーク会議理事		欠席
14	佐藤 彰夫	清新地区まちづくり会議会長		出席
15	塩野 俊江	みらい子育てネットさがみはら連絡協議会会長		欠席
16	代田 昭	中央地区まちづくり会議委員長		出席
17	武井 弘吉	小山地区まちづくり会議会長		出席
18	田所 昌訓	相模原市自治会連合会会長		出席
19	長嶋 玉枝	田名地区まちづくり会議副会長		出席
20	中西 豊和	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
21	野中 保	星が丘地区まちづくり会議会長		出席
22	野村 知子	桜美林大学健康福祉学群教授	副会長	欠席
23	長谷川 光義	上溝地区まちづくり会議会長		出席
24	樋川 芳雄	(財) 相模原市体育協会理事		出席
25	平林 清	光が丘地区まちづくり会議会長		出席